



Cisco UCS Director リリース ノート、リリース 5.0

初回更新日 : 14/07/31

このマニュアルでは、Cisco UCS Director リリース 5.0 ソフトウェアの機能および既知の問題について説明します。

表 1 に、このドキュメントのオンライン変更履歴を示します。

表 1 オンライン変更履歴

リリース番号	日付	説明
リリース 5.0	14/07/31	リリース 5.0 向けリリース ノートを作成。
	14/09/01	未解決の不具合 CSCuq10986 の回避策を更新。

目次

このマニュアルは、次の章で構成されています。

- 「はじめに」 (P.2)
- 「システム要件」 (P.2)
- 「インストール上の注意事項」 (P.2)
- 「新機能および変更された機能」 (P.3)
- 「新規ドキュメントと変更されたドキュメント」 (P.7)
- 「不具合」 (P.8)
- 「ワークフロー タスクの入出力の変更」 (P.17)
- 「マニュアルに関するフィードバック」 (P.19)



はじめに

Cisco UCS Director は、サポート対象のコンピューティング プラットフォーム、ネットワーク プラットフォーム、ストレージ プラットフォーム、および仮想化プラットフォームに対し統一された高度に安全な管理を提供し、Cisco UCS および Cisco Nexus のプラットフォームに基づき業界をリードするコンバージド インフラストラクチャ ソリューションを実現します。

Cisco UCS Director は、Cisco UCS を通じてコンピューティング層およびネットワーク層の統合を拡張し、コンピューティング、ネットワーク、ストレージおよび仮想化に対する包括的な可視性と管理機能をデータセンター管理者に提供します。

システム要件

Cisco UCS Director リリース 5.0 のシステム要件に関する情報は、次のインストールおよびアップグレード ガイドで確認できます。

- VMware vSphere
- Microsoft Hyper-V

サポートするブラウザバージョン

Cisco UCS Director は、次のブラウザをサポートしています。

- Internet Explorer 8 以降
- Google Chrome 4.1 以降
- Firefox 3.5 以降
- Safari 4.0 以降（Apple Mac または Microsoft Windows の場合）

ブラウザには Adobe Flash Player 11 プラグインが必要です。

インストール上の注意事項

Cisco UCS Director は、VMware の場合は OVF 形式で、Microsoft Hyper-V の場合は VHD 形式で提供される標準の仮想マシンを使用する 64 ビットのアプライアンスです。Cisco UCS Director は VMware vSphere または vCenter および Microsoft Hyper-V Manager でホストできます。

インストール手順については、次の [Cisco UCS Director のインストール ガイド](#) を参照してください：

- 『*Cisco UCS Director Installation and Upgrade on Microsoft Hyper-V Manager, Release 4.1 (Microsoft Hyper-V Manager での Cisco UCS Director のインストールとアップグレード、リリース 4.1)*』
- 『*Cisco UCS Director Installation and Upgrade on VMware vSphere, Release 4.1 (VMware vSphere での Cisco UCS Director のインストールとアップグレード、リリース 4.1)*』



(注) アップグレード パッチを適用して、そのインストールを完了した後、ShellAdmin の [サービスの開始 (Start Services)] オプションを選択し、Cisco UCS Director サービスを開始 / 再開してパッチ プロセスを完了します。Cisco UCS Director サービスが開始し、Cisco UCS Director アプ

ライセンス GUI が使用可能になり、ログイン画面が表示され、管理者ユーザが Cisco UCS Director にログインできるまで、パッチプロセスは完了または成功しません。

追加パッチの適用、データベースのバックアップ、バックアップからのデータベース復元など、すべての Cisco UCS Director サービスは他の ShellAdmin プロシージャを実行する前に停止する必要があります。

新機能および変更された機能

Cisco UCS Director リリース 5.0 では、次の機能が使用可能です。

- 「Cisco UCS Director による Cisco UCS Director Baremetal Agent のサポート」 (P.3)
- 「Cisco UCS Director セルフサービス ポータルの新機能」 (P.4)
- 「ロールベース アクセス コントロールの機能拡張」 (P.4)
- 「LDAP 統合機能拡張」 (P.4)
- 「新しいコンピューティング機能」 (P.4)
- 「新しいネットワーキング機能」 (P.4)
- 「新しいストレージ機能」 (P.5)
- 「新しい仮想化機能」 (P.5)
- 「新しく統合されたインフラストラクチャ機能」 (P.6)
- 「オーケストレーションとワークフローの機能拡張」 (P.6)
- 「新しいアプリケーション コンテナ機能」 (P.6)
- 「レポートの機能拡張」 (P.6)
- 「測定とチャージバックの機能拡張」 (P.7)



(注) サポート対象のソフトウェアバージョンとハードウェア デバイスに関する情報は、『*Compatibility Matrix for Cisco UCS Director, Release 5.0 (Cisco UCS Director 互換性マトリクス、リリース 5.0)*』で確認できます。

Cisco UCS Director による Cisco UCS Director Baremetal Agent のサポート

Cisco UCS Director Baremetal Agent は現在、Cisco UCS Director によりサポートされており、サポートには次のものが含まれます。

- Pre-Boot Execution Environment (PXE) サーバのプロセスの自動化
- 機能に関する PXE のインストール環境に必要な次のサービスの提供: ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP)、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP)、およびトリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP)
- ベアメタル サーバまたは仮想マシンでサポートされる一連のオペレーティング システム イメージのインストール

Cisco UCS Director セルフサービス ポータルの新機能

Cisco UCS Director セルフサービス ポータルが更新され、次の機能が追加されました。

- カタログの作成
- テンプレート
- 設定管理
- ユーザ レベルのビュー
- レポート生成

ロールベース アクセス コントロールの機能拡張

Cisco UCS Director のロールベース アクセス コントロールでは、現在次がサポートされています。

- ロールが割り当てられたユーザに与えられる読み取り / 書き込み権限を決定するユーザ ロール。
- 複数のロールをユーザに割り当て、そのプロファイルが割り当てられているユーザに表示できるリソースを定義できるユーザ アクセス プロファイル。
- リソースのより詳細な制御と、他のユーザと共有できるリソースの選択を可能にするグループ共有ポリシー。このポリシーを使用すると、ユーザは、自分に現在割り当てられているリソースのみを表示可能にするか、またはそのユーザが属するすべてのグループに割り当てられているリソースを表示可能にすることができます。

LDAP 統合機能拡張

Cisco UCS Director の LDAP 統合では、現在次がサポートされています。

- ユーザ、グループ、およびアクセス コントロール ポリシーの統合の改善
- 複数の LDAP サーバとアカウント
- LDAP の SSL サポート (Microsoft Active Directory と OpenLDAP)
- OpenLDAP ディレクトリのサポート

新しいコンピューティング機能

Cisco UCS Director では、現在次がサポートされています。

- Cisco UCS Manager リリース 2.2(2c)
- Cisco UCS Manager リリース 2.2(1d)
- HP C7000 with Onboard Administrator (HP OA) バージョン 3.60

新しいネットワーク機能

ネットワークのサポートには、現在次が含まれます。

- Cisco Nexus 9396
- Cisco Nexus 9508
- Cisco Nexus 7700

- Cisco Adaptive Security Virtual Appliance (ASAv) リリース 9.3.1
- F5 Load Balancer Big-IP2200 バージョン 11.5.1 (物理デバイスのみ)

新しいストレージ機能

ストレージのサポートには、現在次のものが含まれます。

- EMC VPLEX バージョン 5.2
- EMC Isilon バージョン 7.1.0.0
- EMC RecoverPoint バージョン 4.0.2

新しい仮想化機能

VMware vSphere : VMware vSphere 5.5 向けのサポートで、次の機能および拡張機能が含まれます。

- VMware vMotion
- Site Recovery Manager
- リンク クローン
- ストレージ vMotion
- VM-FEX アダプタ
- ホスト プロファイル
- ISO イメージを使用した VM プロビジョニング
- テンプレート管理
- データ ストアのクラスタ サポート
- VMRC コンソールのサポート
- DRS VM アフィニティ ルール
- VM の注記

Red Hat Enterprise Virtualization Manager : 標準の Red Hat Enterprise Linux 6 カーネル用の Red Hat Enterprise Virtualization Manager (RHEV-M 3.2 および RHEV-M 3.3) コネクタ向けのサポートで、以下の機能が含まれます。

- REST API を介した Red Hat Enterprise Virtual Machine Manager の管理
- 基本インベントリ
- VM/ ホスト レベルのモニタリング
- VM の基本的な電源アクションとスナップショット操作。
- プロビジョニング サービスは次の通りです。
 - コンピューティング ポリシー : メモリおよび CPU のサイズ変更のオプション
 - ストレージ ポリシー : ローカル、NFS、ISCSI のストレージ タイプ
 - ネットワーク ポリシー : 複数の NIC

新しく統合されたインフラストラクチャ機能

FlexPod : 次のサポートが追加されました。

- Cisco Nexus 9396
- Cisco Nexus 9508
- Cisco Nexus 7700
- Cisco Secure Enclave Architecture

EMC VPLEX : VPLEX クラスタに対するサポートが追加されました。

オーケストレーションとワークフローの機能拡張

Cisco UCS Director のオーケストレーションでは、次のオーケストレーション ワークフローとタスクに対するサポートが現在提供されています。

- バージョン設定
- Run Book の作成
- 条件文
- ルーピング
- マルチ ユーザー承認 - AND 条件
 - ユーザ承認タスク
 - カスタム承認タスク
 - VDC 承認タスク

Cloupia Script® Interpreter : Cloupia スクリプト インタープリタは、組み込みのライブラリおよび API で作成された JavaScript インタープリタです。Cloupia スクリプト インタープリタを使用して、機能の実行、変数および機能の定義ができます。

新しいアプリケーション コンテナ機能

Cisco UCS Director のアプリケーション コンテナでは、現在次がサポートされています。

- Virtual Extensible Local Area Network (VXLAN)
- F5 ロード バランシング

新しい PowerShell API サポート

Cisco UCS Director では、次を含む Microsoft PowerShell API が現在サポートされています。

- Cisco UCS Director REST API への PowerShell cmdlet ラッパー
- ワークフロー管理を支援するレガシー JSON ベース API 用の PowerShell cmdlet ラッパー

レポートの機能拡張

Cisco UCS Director では、カスタマイズされたレポートを作成し生成する機能を現在ユーザに提供しています。

測定とチャージバックの機能拡張

Cisco UCS Director では、現在測定とチャージバックの終了時ではなく開始時にコスト計算を表示します。

新規ドキュメントと変更されたドキュメント

これらのリリース ノートに加え、次の Cisco UCS Director のドキュメントがリリース 5.0 用に作成されました。



(注) 『[Cisco UCS Director Documentation Roadmap](#)』からすべての Cisco UCS Director のドキュメントへアクセスできます。

Cisco.com に 2014 年 7 月 31 日に開示される予定のもの

- 『*Cisco UCS Director Compatibility Matrix, Release 5.0 (Cisco UCS Director 互換性マトリクス、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director Installation and Upgrade on Microsoft Hyper-V Manager, Release 5.0 (Microsoft Hyper-V Manager での Cisco UCS Director のインストールとアップグレード、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director Installation and Upgrade on VMware vSphere, Release 5.0 (VMware vSphere での Cisco UCS Director のインストールとアップグレード、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director Baremetal Agent Installation and Configuration Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director Baremetal Agent インストール/コンフィギュレーションガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director Administration Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director 管理ガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director Orchestration Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director オーケストレーションガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director VMware vSphere Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director VMware vSphere 管理ガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director Integration Guide for Microsoft System Center Virtual Machine Manager, Release 5.0 (Microsoft System Center Virtual Machine Manager 向け Cisco UCS Director 統合ガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director EMC Isilon Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director EMC Isilon 管理ガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director FlexPod Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director FlexPod 管理ガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director EMC VPLEX Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director EMC VPLEX 管理ガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director Vblock Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director Vblock 管理ガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director Public Cloud Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director Public Cloud 管理ガイド、リリース 5.0)*』
- 『*Cisco UCS Director REST Developer Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director REST 開発者ガイド、リリース 5.0)*』

- 『Cisco UCS Director Open Automation Developer Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director Open Automation 開発者ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director F5 BIG-IP Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director F5 BIG-IP 管理ガイド、リリース 5.0)』

Cisco.com に 2014 年 8 月 4 日に開示される予定のもの

- 『Cisco UCS Director Application Containers Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director アプリケーション コンテナ ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director Self-Service Portal Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director セルフサービス ポータル ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director Shell Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director Shell ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director HP Onboard Administrator Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director HP Onboard Administrator 管理ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director Red Hat Enterprise KVM Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director Red Hat Enterprise KVM 管理ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director PowerShell API User Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director PowerShell API ユーザ ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director Management Guide for Cisco UCS Manager, Release 5.0 (Cisco UCS Manager 向け Cisco UCS Director 管理ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director Cloupia Script Configuration Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director Cloupia Script コンフィギュレーション ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director EMC VNX Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director EMC VPLEX 管理ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director EMC Symmetrix VMAX Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director EMC Symmetrix VMAX 管理ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director Invicta Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director Invicta 管理ガイド、リリース 5.0)』
- 『Cisco UCS Director Network Devices Management Guide, Release 5.0 (Cisco UCS Director ネットワーク デバイス管理ガイド、リリース 5.0)』

不具合

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- 「リリース 5.0 で未解決の不具合」 (P.9)
- 「リリース 5.0 で解決済みの不具合」 (P.15)



ヒント リリース ノートの情報は、リリース ノートが公開された後に更新される場合があります。ここに記載されている不具合に関する最新のリリース ノート情報を確認するには、[Cisco Bug Search Tool](#) を使用します。

リリース 5.0 で未解決の不具合

表 2 には、Cisco UCS Director リリース 5.0 での機能および拡張機能の検査に影響を及ぼす可能性のある未解決の問題を示します。

表 2 リリース 5.0 で未解決の不具合

不具合 ID	症状	回避策
CSCup86035	vDC が最初と 2 番目の承認者で設定される。VM が vDC でプロビジョニングされると、最初の承認者のみが [サービス要求 (Service Request)] ステータスに表示される。	この問題の既知の回避策はありません。
CSCup00032	[ユーザ承認 (User Approval)] タスクのマルチユーザ承認機能について、カンマ区切り値が管理者の入力として受け入れられない。	マルチユーザ承認機能にはタスク入力または実行入力を使用します。
CSCuq10986	Cisco UCS Director 4.1.x のワークフローの名前に特殊文字 \ (バックスラッシュ) または ' (一重引用符) が含まれていると、特殊文字の制限によりワークフローが Cisco UCS Director 5.0 にアップグレードされない。	ワークフローをコピーして、複製したワークフローの名前を特殊文字を含まない名前に変更します。 アップグレード後もワークフローを保持するには、リリース 5.0 にアップグレードする前にリリース 4.1.x のワークフローをコピーする必要があります。
CSCup69655	[ログイン ユーザ (Login User)] タブから LDAP ユーザを編集すると、誤ったグループが表示される。ユーザが属するグループの代わりに、ランダムなグループがドロップダウンに表示される。	この問題の既知の回避策はありません。
CSCup48576	韓国語 : 韓国語で [リース期間の設定 (Configure Lease Time)] アクションを送信できない。	この問題の既知の回避策はありません。

表 2 リリース 5.0 で未解決の不具合

不具合 ID	症状	回避策
CSCup44036	<p>REST API : データストアを netapp vsc で作成すると、次の問題が発生する。</p> <p>シナリオ1 : Filer 名、NFS としてのデータストアタイプ、クラスタ集約名に対し NetApp Cモード アカウントを選択した。</p> <p>実行すると、「field cluster aggregate is empty (フィールド クラスタ集約が空です)」というエラーが返されます。7mode アカウントが選択されるときは、クラスタ集約が Cmode デバイスでのみ適用されるので、このフィールドをチェックすることはできません。xml を編集してクラスタ集約 ID にジャンク値を指定し実行すると、このエラーは発生しません。</p> <p>シナリオ2 : Filer 名、NFS としてのデータストアタイプ、クラスタ集約名に対し NetApp Cモード アカウントを選択した。</p> <p>実行すると、「field aggregate is empty (フィールド集約が空です)」というエラーが返されます。Cmode アカウントが選択されるときは、集約フィールドが 7mode デバイスでのみ適用されるので、このフィールドをチェックすることはできません。xml を編集して集約 ID にジャンク値を指定し実行すると、このエラーは発生しません。</p> <p>シナリオ3 : Filer 名、iSCSI としてのデータストアタイプ、ボリューム名に対し NetApp 7モード アカウントを選択した。</p> <p>実行すると、「field cluster volume is empty (フィールド クラスタボリュームが空です)」というエラーが返されます。7mode アカウントが選択されるときは、クラスタボリュームが Cmode デバイスでのみ適用されるので、このフィールドをチェックすることはできません。xml を編集してクラスタボリューム ID にジャンク値を指定し実行すると、このエラーは発生しません。</p> <p>シナリオ4 : Filer 名、iSCSI としてのデータストアタイプ、クラスタ ボリューム名に対し NetApp Cモード アカウントを選択した。</p> <p>実行すると、「field volume is empty (フィールド ボリュームが空です)」というエラーが返されます。Cmode アカウントが選択されるときは、ボリュームが 7mode デバイスでのみ適用されるので、このフィールドをチェックすることはできません。xml を編集してボリューム ID にジャンク値を指定し実行すると、このエラーは発生しません。</p>	<p>フィールドが必要なときは、集約、クラスタ集約、ボリューム、クラスタ ボリュームに対する任意の値を指定することでサンプル xml を手動で編集し、タスクを実行します。</p>

表 2 リリース 5.0 で未解決の不具合

不具合 ID	症状	回避策
CSCup98885	Nexus 7000 デバイスを選択した後に、[グループへの VLAN の割り当て (Assign VLAN to Group)] タスクに vDC フィールドが表示されない。	vDC は、管理者として入力することで提供できます。
CSCum87361	[トランク ロールバックの設定 (Configure Trunk Rollback)] を実行すると、ポートはトランク ネイティブ VLAN を保持するが、ポートモードが [アクセス (Access)] に変更される。 [プライベート VLAN ポートの設定 (Configure Private VLAN Port)] の場合は、ポートを設定し、ロールバックを実施すると、ポートはプライベート VLAN モードのままになる。	[CLI コマンドの実行 (Execute CLI Commands)] タスクを使用して各コマンドを渡すことによって、ネイティブ VLAN およびプライベート VLAN ポートのタイプを変更します。
CSCup66383	[ASA コンテキスト アクション フローの作成 (Create ASA Context Action Flow)] にポートチャネルが表示されず、L2 インターフェイスだけが表示される。	[ASA コンテキストの作成 (Create ASA Context)] ワークフロー タスクを使用します。
CSCuo21996	旧リリースからのカスタム タスクを含むワークフローがインポートされると、Cisco UCS Director に無効な文字列が表示される。	最初に .wfdx ファイルを使用してカスタムワークフロー タスクをインポートします。それから .wfd ファイルを使用してワークフローをインポートします。
CSCup04550	リリース 5.0 へのアップグレード後、[PowerShell コマンドの実行 (Execute PowerShell Command)] ワークフロー タスクに最大待機時間の正しい値が表示されない。	以前のリリースからのワークフローを使用しないでください。Execute Powershell コマンド用の新しいワークフローを作成し、そのワークフローを実行します。
CSCuo74647	カスタマイズが必要で、仮想マシンがワークフローからカスタマイズされる時、ワークフロー完了電子メールが仮想マシンが使用可能になる前に送信される。	2 番目の電子メールを送信するようにポストプロビジョニング ワークフローを作成します。このワークフローでは、sysprep が終了するのに必要な時間で WAIT_TASK を挿入します。
CSCup61134	[VM の移行 (Migrate VM)] タスクのユーザ入力がホスト名からホストノード ID に変更された。	以前のリリースからのワークフローの場合は、既存のホスト名のユーザ入力を削除し、ホストノード ID を追加してマッピングします。
CSCup85949	データストアのマウントと VM の作成は PowerPath ホストで正常に行われるが、スタックのビュー情報が表示されない。	この問題の既知の回避策はありません。
CSCup09631	VM プロビジョニングの統合制限のため、後でプロビジョニングを実行するオプション、[動的データストア (Dynamic Datastore)] および [NIC 選択 (NIC Selection)] (エンドユーザ オプション) がオーケストレーションで動作しない。	[サービス要求 (Service Request)] でこれらのオプションを設定します。
CSCup92660	[VM ネットワークの変更 (Modify VM Network)] タスクが [VMWare インベントリ (VMWare Inventory)] タスクを同時に実行すると失敗する。	[VMWare インベントリ (VMWare Inventory)] タスクで VMware インベントリのタイム スタンプを増やします。

表 2 リリース 5.0 で未解決の不具合

不具合 ID	症状	回避策
CSCuq09385	<p>コンシステンシグループ タスクを送信できない。無効なワークフローの例外を示すエラーメッセージが表示される。</p> <p>「自動ウィナーなし」として切断ルールが設定されているコンシステンシグループの作成時に、ワークフローが送信され実行されると、ワークフローが無効なワークフローの例外を通じて実行される。そしてワークフローが再開されると、遅延入力も予測します。</p>	<p>「自動ウィナーなし」として切断ルールが設定されているコンシステンシグループの作成時に、タスクを再開し、遅延入力を提供して、ワークフローを実行します。</p>
CSCup60429	<p>NetApp OnCommand が Cisco UCS Director のクラスタ モードではなく NetApp 7mode ファイラのためのインベントリを示す。</p>	<p>この問題の既知の回避策はありません。</p>
CSCuq04489	<p>VSC タスクがある VM クローンが、[ストレージの効率性 (Storage Efficiency)] オプションがイネーブルの場合に ONTAP クラスタ モードで失敗する。</p> <p>このタスクは ONTAP 7mode でのみ機能しますが、クラスタ モードでは失敗します。</p>	<p>この問題の既知の回避策はありません。</p>
CSCuq15568	<p>[CD ROM として ISO イメージをマウントする (Mount ISO Image as CD ROM)] タスクが、VM アクション リストでオプションとして使用できる。</p> <p>このオプションは、VM のアクション ボタンとして使用できます。このタスクの実行後は、値は返されません。このタスクの実行時に、例外「Error in operation (操作ミス)」がログに記録されます。</p>	<p>この問題の既知の回避策はありません。</p>
CSCup37013	<p>インベントリを実行しないと、ISO 情報が表示されない。</p>	<p>データ ストアから ISO の詳細を取得するには、クラウド レベルで手動インベントリを実行する必要があります。</p>

表 2 リリース 5.0 で未解決の不具合

不具合 ID	症状	回避策
CSCuq11892	ホスト プロファイルの入力が設定されるまで ApplyHostProfiletask が機能しない。	<p>ホスト プロファイルを適用する前に、次の通りにホスト プロファイルにホストを接続してから追加の入力を提供します。</p> <p>A) ホスト プロファイルにホストを接続します。</p> <p>[仮想に移動 (Go to Virtual)] -> [コンピューティング (Compute)] -> [ホスト プロファイル (Host Profile)] タブに移動します。特定のホスト プロファイルに移動すると、[接続されるホスト (Attached Hosts)] テーブルが表示されます。特定の接続ホストに移動します。[ユーザ入力 (User Inputs)] テーブルが表示されます。[ユーザ入力の編集 (Edit User Input)] ボタンを使用して、各入力に値を提供します。</p> <p>これらの値が指定されないと、[ホスト プロファイルの適用 (Apply Host Profile)] がそのホストに対して失敗します。</p> <p>[ユーザ入力 (User Input)] テーブルが入力されていない場合は、クラウド レベルごとにワークフロー タスクとして使用可能な「Collect ホスト プロファイル インベントリ」を使用します。このタスクでは、選択されたアカウントのホスト プロファイル関連インベントリが収集されます。</p>
CSCuq15405	[Cloud Sense (Cloud Sense)] アクション ボタンが、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] > [SCVMM クラウドの選択 (Select SCVMM cloud)] > [クラスタ (Cluster)] に表示され、この場所に移動後に クラスタを選択して、このアクション ボタンを適用すると、クラスタには適用されない。	この問題の既知の回避策はありません。
CSCuq03179	LUN の作成は選択された RAID グループまたはストレージ プールで行われるが、サービス要求ログでは選択されていないものに対してデフォルトの入力値が表示される。	選択されていない入力値を無視してください。
CSCuo71969	<p>選択した複数のホスト上の共有 DS- データストア マウントとして仮想ボリュームを関連付けると、ホストのいずれかで次のエラー メッセージとともにタスクが失敗する。</p> <p>ホスト イニシエータは、選択した [ストレージ (Storage)] ビューにはありません。</p>	エラー メッセージを無視してください。
CSCup73898	アクションが 2 分以上かかる場合、制御が UI に戻らない。	このようなアクションの場合は、ワークフローはタスクが完了するまで待機するため、ワークフロー タスクを使用します。アクションを使用する場合、UI のタイムアウト後にページをリロードします。

表 2 リリース 5.0 で未解決の不具合

不具合 ID	症状	回避策
CSCuq11753	アップグレード後、マルチノード設定で openLDAP ユーザにログインできない (アカウントはアップグレード後のレポートにある)。	新しい オープン Ldap アカウントを作成し、ユーザを同期させ、オープン ldap ユーザへのログインを試行します。 既存の openLDAP アカウントを削除し、新しい openLDAP アカウントを作成します。その後、ユーザを同期させ、新しく同期されたユーザでログインを試行します。
CSCuq07118	マルチノード設定で、Cisco UCS Director をバージョン 5.0 にアップグレード後、PowerShell エージェントが到達不可能になる。	Cisco UCS Director では、PSA を削除して再度追加します。
CSCup80224	マルチノード設定で、KVM VM がプロビジョニングされると、[SR 要求 (SR-Request)] に VM が検出されないと表示される。 その結果、VM はプロビジョニングされるグループに属しません。デフォルトのグループに属します。	メニューバーで、[管理 (Administration)] > [システム (System)] > [メールのセットアップ (Mail Setup)] を選択します。このページで、Cisco UCS Director のサーバ IP を提供します。 ここで KVM VM をプロビジョニングします。これにより検出されるようになります。
CSCuq11825	VMware アクション ボタンが HyperV VM で利用できる。しかし、これらのアクションが HyperV VM で動作しない。	メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] > [SCVMM cloud (SCVMM クラウド)] > [VM (VM)] > [VM を選択 (Select VM)] を選択します。 選択した VM に適用できるアクションが表示されます。
CSCup99230	vDC について、コンピューティング、ストレージ、およびネットワーク ポリシーに同じクラウドが必要になる。	1. コンピューティング、ストレージ、およびネットワーク ポリシーを作成するときは、その特定の vDC にすでに選択されたクラウドを選択します。 2. これらのポリシーを作成したら、LOV からポリシーを選択します。
CSCup96463	Cisco UCS Director をリリース 5.0 にアップグレード後、リリース 4.x の既存の Cisco UCS Director Baremetal Agent アカウントが Baremetal Agent レポートからアクセスできない。 アップグレード後、Baremetal Agent のアカウント名、ユーザ名、パスワードのフィールドの表示が空になり、接続ステータスが [失敗 (Failed)] と表示されます。これらのパラメータを提供するために Baremetal Agent のアカウントを編集すると、ステータスが [アクティブ (Active)] に戻りません。	既存の Baremetal Agent のアカウントを削除し、新しい Baremetal Agent のアカウントを作成します。

表 2 リリース 5.0 で未解決の不具合

不具合 ID	症状	回避策
CSCuq12334	誤ったドメイン名で OpenLDAP アカウントを追加すると、エラーメッセージが生成されない。Cisco UCS Director が誤ったドメイン名で OpenLDAP のアカウントを作成する。	不正確なアカウントを削除し、正しいドメイン名で OpenLDAP のアカウントを作成します。
CSCup66379	スタティック IP アドレスを用いた VM プロビジョニングの場合、カスタマイズが完了するまで Cisco UCS Director が待機しない。Cisco UCS Director は、デフォルトの時間 (10 分) 待機するか、またはスタティック IP アドレスが VM に割り当てられるで待機する必要があります。	10 ~ 15 分待機して、その後スタティック IP アドレスが VM に適切に割り当てられているかを確認します。

リリース 5.0 で解決済みの不具合

表 3 では、Cisco UCS Director リリース 5.0 で解決済みの不具合について説明します。

表 3 リリース 5.0 で解決済みの不具合

不具合 ID	症状
CSCup61134	アップグレード プロセス中にユーザ入力が入力されたホスト ノードにマップされる必要がある。
CSCup57198	既存の VNX アカウントを削除し、アップグレードの完了後に新しいアカウントの追加を試みる必要がある。
CSCuq02560	[すべて削除 (Delete All)] ネットワーク オプションを使用すると、500 個すべてのネットワークが削除されない。
CSCup46328	LDAP ユーザのアクセス レベルを変更できない。
CSCup98188	[実行のワークフローの送信 (Submit Workflow for execution)] が送信されない。
CSCuq06201	作成されたエンド ユーザのサービス ポリシーが、パッチ アップグレード セットアップのレポートに表示されない。
CSCup47751	すべての新しいコネクタの [説明 (Description)] フィールドが、[アカウントの追加 (Add Account)] 形式から欠落している。 これは、[マルチドメイン (Multi-Domain)] および通常の [アカウントの追加 (Add Account)] 形式に適用されます。
CSCup49221	[アカウントの追加 (Add Account)] ページのクレデンシャル ポリシーの選択 / 追加に不整合がある。
CSCup46871	カスタム ワークフロー タスクの実行中、円が SR の [ワークフロー ステータス (Workflow Status)] タブに描かれず。

表 3 リリース 5.0 で解決済みの不具合 (続き)

不具合 ID	症状
CSCUh43866	[VM コマンドの実行 (Execute VM command)] タスクが vCenter 5.1 以降のバージョンで動作しない。 このタスクは ESXi version5.0 VM のみで動作し、VMware ツールを VM にインストールする必要があります。 API は ESXi version5.0 以降または以前のバージョンでは動作していません。Windows 2012 の場合は、動作していません。
CSCUi74270	VSC を使用したデータストアの作成で、データストア名に変数を使用できない。
CSCUj19580	Windows 2012 でのテンプレートの配置時に、ネットワーク構成の問題がある。
CSCUj19695	ファイル エクスプローラ タスク アクティビティが動作していない。
CSCUj20596	VM 移行後のチャージバック問題
CSCUm78762	ワークフロー タスクと UI のレポート アクションの両方のボリューム情報を表示する際に LUN のサイズが変更される。
CSCUn76945	HyperV の問題 : Rest API の [CPU およびメモリの変更 (Modify CPU and Memory)] タスク
CSCUo29234	ゲストの設定タスクで発生した変更により、VM プロビジョニングに時間がかかる。
CSCUo40797	グループ名および vDC ラベル名両方の電子メール テンプレートが日本語やスペイン語に変換されない。
CSCUo40977	日本語文字列が変換されず、疑問符のエラーが表示される。
CSCUo56206	SR-Log の 2 通のメールの間をカンマで分離する必要がある。
CSCUo62925	[コンテナに VM を追加 (Add VM to Container)] タスク (ロールバック) によってコンテナ上の VM がすべて削除される。
CSCUo80327	「Resource in Use (使用中のリソース)」のような VMware SDK の例外をうまく処理する必要がある。
CSCUo87703	REST API : userAPIServiceContainerDetails のデータが消失する。

ワークフロー タスクの入出力の変更

表 4 では、Cisco UCS Director リリース 5.0 で見られるワークフロー タスクの入出力の変更と、既存のワークフローへの影響（もしあれば）を説明します。

表 4 リリース 5.0 のワークフロー タスクへの入出力の変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入出力の変更	リリース 4.1 ワークフローとの互換性
VM	vmware 汎用データストアのサイズ変更 ([デフォルト下のワークフロー (Workflow under default)] -> [CloudGenie フォルダ (CloudGenie folder)])	データストア名のマッピングが、 <code>datastorename</code> から <code>vmwaredatastorename</code> に変更されます	ユーザ入力マッピングの変更によるアップグレード後のバインディングの問題 (CSCuq06134) ユーザ入力マッピングを最新のものに変わります。
	コンピューティング ポリシーの変更	リソース プール マッピングが汎用テキストから <code>vmwareresourcepoolidentity</code> に変更されます	
ネットワーキング	セキュリティ コンテキストの作成 コンテキスト インターフェイスの設定 コンテキスト NAT の設定 コンテキスト ACL の設定 セキュリティ コンテキストの削除	ユーザ入力フィールド [コンテキスト名 (Context name)] に対するタスクの実行中に報告されるバインディングエラー。 ユーザ入力フィールド [コンテキスト名 (Context name)] のタイプが <code>gen_text_input</code> から「セキュリティ コンテキスト名」に変更されました。したがって、タスクをリリース 5.0 にインポートすると、このエラーが発生します。	[ASA セキュリティ (ASA Security)] に関しては、入力フィールドはデフォルトで変更されます。(CSCuq09017) 各タスクを再検証し、送信します。
HyperV	CPU およびメモリのサイズを変更	メモリの変数が変更されました。	ワークフローの検証で、バインディング エラーが失敗していました。(CSCup36186) 回避策：新しい入力値を提供することにより検証エラーを修正し、タスクを再送信します。
HyperV	VM ディスクの追加	VHD 変数について、フォーム フィールド定義が変更されました。 <code>FormFieldDefinition.FIELD_TYPE_EMBEDDED_LOV</code> が <code>FormFieldDefinition.FIELD_TYPE_TABULAR_POPUP</code> に変更されました。 さらに <code>FormField table NOT_FOUND</code> が <code>HypervTabularLOV.HYPERV_ALL_LIBRARY_VHD</code> に変更されました。	ワークフローの検証がタスクを送信中に失敗していました。(CSCup36186) 回避策：新しい入力値を提供することにより検証エラーを修正し、タスクを再送信します。

表 4 リリース 5.0 のワークフロー タスクへの入出力の変更 (続き)

シナリオ	ワークフロー タスク	入出力の変更	リリース 4.1 ワークフローとの互換性
ネットワーク コントローラ	VPC PortChannel の 削除	portChannel 変数について、 UserInputField タイプが WorkflowInputFieldTypeDeclaration.NE WORKING_DEVICE_VPC から WorkflowInputFieldTypeDeclaration.NE WORKING_DEVICE_VPC_INTERFA CE に変更されました。	ワークフローの検証は、検証エラーを レポートしませんでした。ただし、タ スクの送信と実行は、検証エラーを検 出していました。(CSCup34631) 回避策：タスクの実行が正常に完了し ます。
EMC コン トローラ	VNX LUN の作成	lunID 変数について、FormField 必須 プロパティの値が FALSE から TRUE に変更されました。	LUN ID は現在必須です。LUN ID 値が 含まれ、タスクが適切な検証でエク ポートされると実行が成功します。 回避策：必須フィールドに入力し、ギ ガバイト (GBs) で LUN サイズを指定 します。 [LUN の作成 (Create LUN)] タスク： 名前が <code>_\${SR_ID}</code> に置き換えられる と、名前が LUN ID に上書きされます。 回避策：一意の名前を付与するか、LUN ID のユーザ入力を作成し、名前を 「LUN <code>_\${LUN ID}</code> 」に置き換えます。 (CSCup38964)
VMWare コ ントローラ	VMware ポート グループの作成	staticIpPool 変数について、必須の FormField パラメータの値が NOT_FOUND から TRUE に変更され ました。 サブネット Mark 変数について、 FormField 必須プロパティの値が NOT_FOUND から TRUE に変更され ました。	必須として追加された 2 つのフィー ルドがワークフローの検証エラーの原因 となります。(CSCup31756) 回避策：新しい入力値を提供するこ とにより検証エラーを修正し、タスクを 再送信します。
VMWare コ ントローラ	VMKernel ポート グループの作成	staticIpPool 変数について、FormField 必須プロパティの値が NOT_FOUND から TRUE に変更されました。 subnetMask 変数について、FormField 必須プロパティが NOT_FOUND から TRUE に変更されました。	必須として追加された 2 つのフィー ルドがワークフローの検証エラーの原因 となります。(CSCup31762) 回避策：新しい入力値を提供するこ とにより検証エラーを修正し、タスクを 再送信します。
VMWare コ ントローラ	VM の移行	hostNode 変数について、FormField テーブル プロパティの値が NOT_FOUND から GlobalConstants.TABULAR_FIELDS.V MWARE_HOST_NODE_TABLE_FIELD に変更されました。	ワークフローの検証は無効なワークフ ローとして失敗していました。ワーク フローを開き、編集することはできま せんでした。(CSCup31545) 回避策：タスクを削除し、ワークフ ローに再度追加します。

マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、HTML ドキュメント内のフィードバック フォームより ucs-director-docfeedback@cisco.com にご連絡ください。皆様のフィードバックをお待ちしております。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation (Cisco 製品資料の更新情報)*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。
<http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/general/whatsnew/whatsnew.html> [英語]

『*What's New in Cisco Product Documentation (Cisco 製品資料の更新情報)*』は、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示し、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

このマニュアルは、「[マニュアルに関するフィードバック](#)」の項に記載されているマニュアルと併せてご利用ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク ポジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2014 年 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

